

「人を対象とする生命科学・医学系研究についての情報公開文書」

研究課題名：下垂体腺腫の経鼻的手術、成績と合併症に関する検討

・はじめに

頭蓋の中心部分にトルコ鞍という下垂体が存在する場所がありますが、この部分に下垂体腺腫という脳腫瘍が発生します。これは脳腫瘍の発生頻度順として、髄膜腫について第2位の頻度の多い腫瘍です。この腫瘍に対しては通常の開頭手術ではなく、鼻の中からこの腫瘍に達し、これを摘出する経鼻手術が行われます。この手術は2010年頃から、以前の顕微鏡手術ではなく、内視鏡を用いた手術に変わり、現在では顕微鏡を用いない内視鏡手術が行われています。患者さんへの負担も少ない為、高齢の患者さんであっても、若い人と同様に手術を行っております。しかしながら、実際の手術成績や合併症、予後について十分な検討がなされているとは言えません。高齢者についても安全かどうかは完全には分かっていません。今回の検討は群馬大学医学部附属病院での経鼻的下垂体手術の成績について調査し、高齢の患者さんと若い患者さんの間で手術成績と合併症に差があるのか否かについて検討し、今後の治療に役立てようとするものです。

こうした研究を行う際には、血液、組織、細胞など人のからだの一部で、研究に用いられるもの（「試料」といいます）や診断や治療の経過中に記録された病名、投薬内容、検査結果など人の健康に関する情報（「情報」といいます）を用います。ここでは、既に保管されているこうした試料や情報の利用についてご説明します。

・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法（他機関に提供する場合にはその方法を含みます）について

群馬大学医学部附属病院脳神経外科で通常の診療として手術を受けられた下垂体腺腫の患者さんの臨床データ（病歴、治療歴、手術合併症の発生状況）について、手術成績、合併症、予後について調べるため、電子カルテを用いて調査いたします。

・研究の対象となられる方

1999年4月1日から2025年10月31日までに下垂体腺腫にて、群馬大学医学部脳神経外科に入院、手術を行った方、約200例を対象とします。対象となること

を希望されない方は、相談窓口（連絡先）へご連絡ください。代諾者の方からのご連絡も同様に受け付けます。（代諾者とは、未成年者の場合、親権者とし、十分な判断力がないと客観的に判断される成年者、死者を含むその他の場合、子または親など血縁者とします。）希望されなかった方の情報は、研究には使用しません。ただし、対象となることを希望されないご連絡が2026年3月31日以降になった場合には、研究に使用される可能性があることをご了承ください。

・研究期間

研究を行う期間は学部等の長の許可日より2029年1月31日までです。
情報を利用又は提供を開始する予定日は2025年10月です。

・研究に用いる試料・情報の項目

群馬大学医学部附属病院脳神経外科で通常の診療として手術を受けられた下垂体腺腫の患者さんの臨床データ（カルテ記載情報として、年齢、性別、既往歴、投薬状況、診察所見、腫瘍組織名、入院中の血液検査データ、手術合併症の発生状況）について、電子カルテを用いて調査いたします。手術成果を検討するために、術前後の頭部画像情報から、摘出率を算出いたします。そのほか、眼科的検査データ、ホルモン値、合併症に関する情報に関して、同様に電子カルテを用いて調査いたします。

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。また、本研究により研究対象者となった患者さんが直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありませんが、下垂体腺腫の経鼻的手術に関して有益な情報を得ることが出来る様になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性があると考えています。研究対象者に対する経済的負担および謝礼はありません。

・個人情報の管理について

個人情報の漏洩を防ぐため、群馬大学医学部脳神経外科においては、個人を特定できる情報を削除し、データの数字化、データファイルの暗号化し、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。
また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は含まれません。

・試料・情報の保管及び廃棄

この研究により得られた臨床情報は、群馬大学医学部脳神経外科（外付けハードディスクに情報を入力。使用ソフトにパスワードを設定する。ハードディスクは院内の鍵のついた部屋である臨床研究棟 B 脳神経外科セミナー室内の鍵付きの机に、管理責任者（向田直人）が保管、論文発表後は10年間保存し、保存期間が終了した後に個人を識別できる情報を取り除いた上で廃棄（データを消去）いたします

・研究成果の帰属について

この研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性があります、その場合の特許権等は研究者もしくは所属する研究機関に帰属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。

・研究資金について

この研究を行うために外部資金の提供はありません。

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではない、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われないのではない（企業に有利な結果しか公表されないのではない）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

・研究組織について

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者

所属・職名：群馬大学院医学系研究科脳神経外科学助教(病院)

氏名：向田 直人

連絡先：(027) -220-8515

研究分担者

所属・職名：群馬大学院医学系研究科脳神経外科学助教
氏名：山口 玲
連絡先：(027) -220-8515

研究分担者

所属・職名：群馬大学院医学系研究科脳神経外科学教授
氏名：大宅 宗一
連絡先：(027) -220-8515

・研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

試料・情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

試料・情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

所属・職名：群馬大学医学系研究科脳神経外科学教授
氏名： 大宅 宗一
連絡先：〒371—8511 群馬県前橋市昭和町三丁目 39-22
Tel：(027) -220-8515

上記の窓口では、問合せ・苦情等の他、次の事柄について受け付けています。

- (1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 ※他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知
 - ①試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
 - ②利用し、または提供する試料・情報の項目
 - ③利用する者の範囲
 - ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
 - ⑤研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法